

クリスマス音楽の源流を訪ねて



ブルーベリーアナビアン
ダリア・アナビアン

多様なクリスマス音楽の数々をベルシヤの民族楽器サントゥール、中世・ルネサンス音楽合奏団、バイオリンの豊じょうな演奏でつづる午後のひと時。

- 日時 12月8日(土)午後3時～(開場:午後2時30分～)
- 会場 ルナ・ホール 全席指定
- 出演 ダンスリー・ルネサンス合奏団 & La 萌 Mie / ブルーベリー・アナビアン / ダリア・アナビアン(辻本明日香・恵理香(HappyTwins:バイオリン))
- 入場料 前売2,000円(当日2,500円)
- 販売所 市民センター事務所・市役所売店・ローソクチケット(Lコード55453)



ダンスリー・ルネサンス合奏団



La 萌 Mie



辻本明日香・恵理香

問い合わせ ルナ・ホール事業担当 ☎35-0700

市民ギャラリー・ステージ

■11月のギャラリー		会場	市民センター
2日(金)午前10時30分～5日(月)午後4時	芦屋カメクラブ写真展	多目的ホール	
2日(金)午前11時～5日(月)午後4時	第41回アジアフォトクラブ写真展	多目的ホール	※展示はすべて無料。火曜日を除く午前9時～午後5時に開催。初日と最終日は左記のとおり。
2日(金)午後1時～5日(月)午後3時	秋の盆栽展	301・302室	
7日(水)午前10時～10日(土)午後4時	あしやYO倶楽部 写真絵画作品展	多目的ホール	
7日(水)午後1時～10日(土)午後4時	美芦くらぶ絵画展	301室	
11日(日)午後1時～15日(木)午後3時	第11回芦屋川カレッジ学友会 美術展	301・302室	
11日(日)正午～15日(木)午後3時	デジタルフェア	多目的ホール	

■11月のステージ		会場	ルナホール/小ホール
3日(土)	①午後2時開演<1時30分開場> ②午後5時30分開演<5時開場>	青空演劇・朗読くらぶ発表会	小ホール
	午後1時開演<0時30分開場>	第61回 芦屋三曲協会演奏会【要整理券】	ルナ・ホール
4日(日)	午前11時開演<10時30分開場>	第40回 記念公演 民謡・新舞踊大会	ルナ・ホール
10日(土)	午後1時開演<0時30分開場>	日本舞踊を楽しむ会	ルナ・ホール
11日(日)	午前11時30分開演<11時開場>	第47回 芦屋合唱祭	ルナ・ホール
18日(日)	午後1時30分開演<1時開場>	あしやYOコーラス 秋色コンサート4	ルナ・ホール
23日(金)	午後5時開演<4時30分開場>	That's International Vol.2	ルナ・ホール
25日(日)	午後6時開演<5時30分開場>	DANCE DANCE【入場料2,000円】	ルナ・ホール

問い合わせ 市民センター ☎31-4995

公民館からのお知らせ

【海をめぐる芦屋の古代と平清盛の時代展】
芦屋と海とのつながりを弥生時代から取り上げ、12～13世紀を中心とする平清盛時代にも焦点をあてて、大河ドラマの頃の古代芦屋に生きた人々の生活遺品や文化などを紹介します。

■日時 10月17日～11月5日<火曜日休館>
■会場 市民センター 展示場
■内容 弥生文化/古墳文化/飛鳥・奈良文化/平安・鎌倉文化と芦屋の海/海とつながりの深い考古資料



黄釉鉄絵の買易陶磁 (中国宋、芦屋出土)

＜展示の説明会＞
■日時 10月18日・11月1日(木)午前9時30分～10時
■会場 市民センター 展示場
■講師 文化財ボランティア

【文化財講演会】
平清盛時代に焦点をあてて、大河ドラマの頃の古代芦屋に生きた人々の生活や文化、福原京や大輪田泊などを考古学の発掘成果から考えます。

■日時 10月26日(金)午後1時30分～3時30分
■会場 市民センター 401室
■内容 清盛の時代と芦屋・阪神地方の考古学 - 福原京・大輪田泊から六条・寺田・大物遺跡まで
■講師 生涯学習課 森岡秀人 学芸員



森岡秀人

問い合わせ 公民館 ☎31-4995

美術博物館の催し

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432/☎38-5434 (〒659-0052 伊勢町12-25)

【芦屋アートバザール】
■日時 10月20日(土)21日(日) 午前10時～午後4時<雨天中止>
■会場 美術博物館前庭
■内容 「創作活動を通して作者とお客様の交流」を目的とした手作り品のバザール



美術博物館

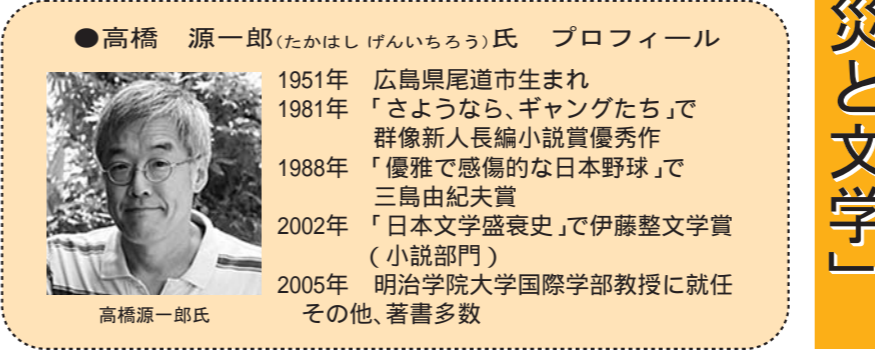
谷崎潤一郎賞受賞記念 特別講演会

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館特別講演会係 ☎23-0039 (〒659-0052 伊勢町12-15)



【高橋源一郎氏 プロフィール】
1951年 広島県尾道市生まれ
1981年 「さようなら、ギャングたち」で群像新人長編小説賞優秀作
1988年 「優雅で感傷的な日本野球」で三島由紀夫賞
2002年 「日本文学盛衰史」で伊藤整文学賞(小説部門)
2005年 明治学院大学国際学部教授に就任
その他、著書多数

【高橋源一郎氏 プロフィール】
1951年 広島県尾道市生まれ
1981年 「さようなら、ギャングたち」で群像新人長編小説賞優秀作
1988年 「優雅で感傷的な日本野球」で三島由紀夫賞
2002年 「日本文学盛衰史」で伊藤整文学賞(小説部門)
2005年 明治学院大学国際学部教授に就任
その他、著書多数



高橋源一郎氏

谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/☎38-3244

【文学講座】作家・柳谷郁子が語る ～名作の愉(たの)しみ～
■日時 10月25日(木)午前10時30分～正午 ■会場 講義室 ■内容 山口暉作「六考える人たち」を取り上げ、作品の背景や作者の心情などを解説 ■定員 16人 ■講師 作家・柳谷郁子氏 ■受講料 2,300円 ■申し込み 上記へ

【特別1日講座】年賀状を作りましょう
■日時 11月6日(火)午後2時30分～4時30分 ■会場 講義室 ■内容 毛筆・硬筆で美しく温かみのある年賀状作成や落款作成 ■定員 12人 ■講師 新倉希美氏 ■受講料 2,000円(教材費500円・篆刻を含む場合1,000円別途要) ■持ち物 筆記用具 ■申し込み 11月2日(金)までに上記へ

【特別1日講座】花の宿に学ぶ「茶花」講座
■日時 11月18日(日)午後1時～4時 ■会場 講義室 ■内容 四季折々の草・木・花を素敵にアレンジ ■定員 8人(最低開講人数3人) ■講師 有馬温泉高山荘野草主人・駿川武志氏 ■受講料 2,500円(花材費4,500円別途要) ■持ち物 花はさみ・花袋・霧吹き・タオル・筆記用具 花器と花は講師が用意します ■申し込み 11月11日(日)までに上記へ



谷崎潤一郎記念館

問い合わせ 広報課 ☎38-2006

「暴力団排除条例(骨子案)」に関する 市民意見の実施結果

問い合わせ 行政経営課 ☎38-2005

このたび、「暴力団排除条例(骨子案)」に対する市民の皆さんのご意見を募集したところ、3人のかたから6件のご意見をいただきました。ご意見と市の考え方についてお知らせします。

《主なご意見の内容》
「基本理念」について、暴力団がはびこる「土壌」をなくしていくため、福祉や医療・教育・子育てなど健康で文化的な生活を営める施策の前進、充実をうたうべき。

【市の考え方】
暴力団がはびこる「土壌」をなくすることは重要ですが、まずは社会全体として暴力団の非社会性を認識し、暴力団排除活動を一丸となって推進していくために、本条例が必要と考えます。暴力団を恐れず、暴力団に対して利益の供与をしない、暴力団を利用しないという暴力団排除・暴力団追放におけるいわゆる「三ない運動」により、芦屋市から暴力団の排除を推進するうえで、市・市民等・兵庫県および関係機関等との連携が欠かせないため基本理念に明記しています。

「市民及び事業者の役割」について、「啓発に協力するよう努める」「当該情報を提供するよう努める」など、市民に努力義務を課すのは不当

【市の考え方】
この条例では、市民・事業者および行政が一体となって、地域社会から暴力団を排除し、安全で安心な市民生活の向上などを目的としています。市民の皆さんにも、暴力団の排除に関する啓発への協力や暴力団の排除に資すると認められる情報の提供をお願いするものです。

「定義」について、暴力団密接関係者の「社会的に非難される」とはし意的に解釈されるおそれがあり、誰が認定するのとも問題

【市の考え方】
暴力団密接関係者であるか否かは、市へ業者登録する際の情報や兵庫県・関係機関等からの情報をもとに、市で判断します。

「定義」について、「関係機関等」が具体的に明記されていない。

【市の考え方】
関係機関等については、現在のところ暴力団対策法第32条の3に規定する公益財団法人暴力団追放兵庫県民センターを指しています。

市民は誰が暴力団かわからないので、通報するのが難しい。市民の役割も抽象的で、本当に守ってくれるのか不安です。暴力団は、警察が責任を持って取り締まるべきです。

【市の考え方】
暴力団に対しては、「暴力団対策法」および「暴力団排除条例(兵庫県条例)」により警察が取り締まります。また、本市から暴力団の排除をよりいっそう推進するため、市民の皆さんからも、暴力団の排除に資すると思われる情報を入力されたときは市または関係機関等に対し情報の提供をお願いします。

「市民及び事業者の役割」で「啓発に協力」ならびに「当該情報を提供」するように努めるものとする」と、市民の努力義務が規定されている一方で、市の責務が一般的なことにとどまっています。よって、行政としての責任をより具体的に明確にするとともに「市民及び事業者の役割」とそれを前提とした「市民及び事業者に対する支援等」の削除を求めます。

【市の考え方】
この条例では、市民・事業者および行政が一体となって、地域社会から暴力団を排除し、安全で安心な市民生活の向上などを目的としています。従いまして、市としての責務を定めるとともに、市民の皆さんには、暴力団の排除に関する啓発への協力や暴力団の排除に資すると認められる情報の提供をお願いするものです。



古典の日(11月1日)制定記念講演会

【芦屋に息づく古典文化】
昭和の源氏物語といわれる「細雪」の舞台となった芦屋と関わりのある古典文学・日本美術・伝統芸能を幅広く紹介する講演会を、業平町の市民センターで開催します。在原業平の別荘があったと伝えられていることにより、今にその名を地名に残す業平町で、古人の心をしのび古典の日制定の意義を考えます。
■日時 11月1日(木)午後3時30分～4時30分
■会場 市民センター 401室 ■定員 先着120人
講師 神戸夙川学院大学教授・河内厚郎氏
■申し込み 直接会場へ

問い合わせ 公民館 ☎35-0700

10月後半 GATV 広報番組ガイド		放送時間(15分)
オープニング	津知緑地	9:00
トピックス	秋の公民館講座	12:00
	「芦屋川の魅力を探る」第24回あしや秋まつり	15:00
特集	結成10年目 地域のおとうさん～浜町メンズクラブ	18:00
	セアカゴケグモに注意しましょう!	22:30
お知らせ	エンディング	※DVDの貸出可

■広報番組「あしやトライあんぐる」は、11ch(一部地域を除く)でご覧ください。
■番組に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006 ■CATV全般に関する問い合わせ ケーブルネット神戸芦屋(J:COM)カスタマーセンター ☎0120-999-000

「芦屋の四季・70選」発売中 市制施行70周年記念写真集

市では、市民の皆さんからの公募写真でつづった市制施行70周年記念写真集「芦屋の四季・70選」を、好評発売中です。市民の皆さんが切り撮った美しい現在の芦屋風景を、市制施行70周年の記念として、未来の自分への、また遠方のご家族や親しいかたへのプレゼントとして、ぜひご活用ください。
■発売所 市役所北館1階行政情報コーナー・ラポルテ市民サービスコーナー
■定価 1,000円

問い合わせ 広報課 ☎38-2006

芦屋シティグラフ 好評発売中!

市では、「芦屋シティグラフ」(A4判・52ページ/全カラー刷り)を発行・発売しています。芦屋の自然や歴史、芦屋ゆかりの芸術・文学・文化。それらに触れつつ散歩を楽しめるコースの紹介、行政の動きや統計、また市内の医療機関一覧(地図)など盛りだくさんの情報を、写真170点のほかイラストや地図とともにわかりやすく掲載しています。ご活用ください。
■販売場所 市役所行政情報コーナー・ラポルテ市民サービスコーナー ■定価 300円 まるごと「あしや」早わかり!

問い合わせ 広報課 ☎38-2006

芦屋に息づく古典文化

昭和の源氏物語といわれる「細雪」の舞台となった芦屋と関わりのある古典文学・日本美術・伝統芸能を幅広く紹介する講演会を、業平町の市民センターで開催します。在原業平の別荘があったと伝えられていることにより、今にその名を地名に残す業平町で、古人の心をしのび古典の日制定の意義を考えます。
■日時 11月1日(木)午後3時30分～4時30分
■会場 市民センター 401室 ■定員 先着120人
講師 神戸夙川学院大学教授・河内厚郎氏
■申し込み 直接会場へ

問い合わせ 公民館 ☎35-0700